

## 永野を愛する人たち！

7月3日、永野公民館で地域セミナー「第6回さなほり会」が開催されました。

この「さなほり会」はみんなが意識をもって、郷土を大切にすることを切望してほしいと始まり約120名が参加。当日は地域婦人会の方々などによりさなほりの伝統的料理である中皿（かしわの煮付け）とぼたもちを中心とした料理が再現されました。席も虎んが淵お万ヶ石など永野に係る名称が付けられ、会場には書画や作文、七夕飾りなども飾られました。

会長の平博文さんは、「この地域の次世代のために、何ができるか一緒に考えていきましょう。」とあいさつ。

余興で永野ハーモニカ教室が「くつがなる」など5曲を演奏し永野コーラスグループが「おお牧場はみどり」など2曲を合唱すると、会場から大きな拍手が起りました。

最後は、七夕にちなみ、織姫と彦星ならぬ田の神が登場し大きな笑いに包まれました。

## 心ひとつに きらめく舞台 永野小で学習発表会

6月27日、永野小体育館で保護者や地域住民も参加した学習発表会がおこなわれ、児童は音楽劇や音楽表現、英語劇などでそれぞれ授業の学習成果を発表しました。

三年生は「町たんけん」と題した社会科発表をおこない、「観音滝公園」、「永野駅公園」、「永野金山」を調査した結果についてスライドを使って発表しました。そのうち「永野駅公園」を調べた児童は、永野駅付近の線路が珍しいスイッチバック方式になっていたこと。線路跡が今はゲートボール場になっていること。国鉄宮之城線が通学、病院、行商などに広く使われていたことなどを発表。児童が生まれたときには国鉄宮之城線は既に廃止されており「今でも汽車が走っていたら是非乗ってみたかった。」と話していました。



▲一年生音楽劇「おもちゃの会議」の様

▶永野ハーモニカ教室の皆さん



## 新町誕生に向けて 合併調印式

6月21日、鶴田町中央公民館で約350名が参加して合併調印式がおこなわれ、3町長と薩摩東部地区合併協議会委員、特別立会人の県知事が合併協定書に署名しました。

薩摩東部地区合併協議会会長の北村信之宮之城町長は「身近な合併を進めてきた。今後心一つにして力を合わせ、個性的で魅力あるまちづくりを進めるよう努力したい。」とあいさつしました。

▶固い握手を交わす3町長と知事



も、毎日の生活からみんなの代表として認められるような態度を心掛けていきたいです。

〔詩〕

人  
中津川小五年 増田欣晃よしあき君

人はいつもいろんな心をもっている  
やさしい心やいじわるな心  
だからみんなおもしろい

雲

中津川小五年 森永理沙さん

雲ははやい。  
ひこうきぬかして  
ヘリコプターぬかして  
そらの

第一走者

ほし

中津川小五年

久保田つぐみさん

そらのほしが、かがやいている  
きらきらおしゃべりしながら  
ほしとほしが  
かさなつて  
かがやいている